

試験開始の指示があるまで、この問題冊子の中を見てはいけません。

令和2年度

編入学 専門科目試験問題

(100点)
(60分)

千葉県立保健医療大学 健康科学部

看護学科

注意事項

1. 問題冊子は、表紙を除き6ページである。
2. 問題冊子及び解答用紙の印刷が不鮮明などの場合には、手を挙げて監督員に知らせること。
3. 解答は、必ず黒の鉛筆（シャープペンシルも可）で解答用紙に記入すること。
4. 試験終了後、問題冊子は持ち帰ること。
5. 不正行為に対しては厳正に対処します。

【問題 1】以下の文章について、正しければ「○」、誤っていれば「×」を、解答欄に記載しなさい。

1. フィンク（Fink SL）の危機モデルの第3段階は衝撃である。
2. 抗不安薬を服薬開始直後の患者で注意を要する副作用の1つに起立性低血圧がある。
3. リラクゼーションで期待される反応は α 波の増加である。
4. 在宅人工呼吸器の日常的な管理として、フィルターの交換は業者が行うよう療養者及び家族へ指導する。
5. 介護保険におけるケアプランは作成後に医師への報告が義務付けられている。
6. 在宅療養をしている40歳以上65歳未満の者で介護保険のサービスを利用できる疾患はクローン病である。
7. 医療保険制度による訪問看護の利用は原則週3回までである。
8. パソコンへのデータ入力を職業とする人の健康障害を予防するためには、700ルクス程度の直接照明で照度を確保することが適切である。
9. 社会復帰への支援は三次予防に含まれる。
10. 国民健康保険一般被保険者本人の自己負担割合は4割である。
11. 加齢による性差が顕著なのは認知機能よりも骨塩量である。
12. 洗濯は手段的日常生活動作（IADL）の1つである。
13. 成年後見制度の任意後見人は家族が決定する。
14. 副腎皮質刺激ホルモンは加齢により低下する。
15. ワルファリンカリウムを処方された患者に納豆を食べないように指導する。
16. 血糖値上昇に伴って成長ホルモンの分泌が促進される。
17. 副腎皮質ステロイド服用中の患者に副作用が出現した場合はすぐに服用は中止される。

18. 側頭葉に障害のある患者は眼を閉じた状態で手にした物品を識別できない症状が出現しやすい。
19. 造血幹細胞移植後に頻繁な水様便がある場合は急性移植片対宿主病（GVHD）を疑う。

【問題 2】以下の文章を読み、空欄 1～4 にあてはまる適切な語句を入れなさい。解答は解答欄に記載しなさい。

日本における健康づくりの施策としては、1978（昭和 53）年から第一次国民健康づくり対策、1988（昭和 63）年から第二次国民健康づくり対策・アクティブ（ 1 ）ヘルスプランが実施された。2000（平成 12）年より第三次国民健康づくり対策として早世の減少、（ 2 ）の延伸等を目的とした、21 世紀における国民健康づくり運動、通称（ 3 ）が策定された。2013（平成 25）年からは第 4 次国民健康づくり運動として（ 3 ）（第 2 次）が策定され、全ての国民が共に支え合い、健やかで心豊かに生活できる活力ある社会の実現を目指した取り組みが行われている。この施策の根拠となる法律は（ 4 ）法である。

【問題 3】以下の文章は、ムーア（Moore FD）が分類した術後患者の回復過程 4 相と心理的回復に関する文章である。文章の空欄 1～5 にあてはまる適切な語句を入れなさい。解答は解答欄に記載しなさい。

第 1 相：傷害期は、手術直後から 2～3 日ごろの時期であり、麻酔や手術による侵襲による生体反応が見られる。侵襲によって血管透過性が亢進し体液が（ 1 ）スペースへ移動することにより、（ 2 ）量の減少が見られる。この時期は、手術を受けた生体が恒常性を取り戻すために全エネルギーを注ぐため、心理的反応は生理的ニーズに関連したものになる。

第 2 相：転換期は、術後 3 日ごろからの時期であり、1～2 日ほど続く。（ 1 ）スペースに貯留していた細胞外液が体循環に戻るリフィリングが起こる。これにより、（ 2 ）量が増加し、状態の安定化が見られる。この時期は、手術により生じた機能の変化や喪失に直面し心理的葛藤が生じる。

第 3 相：同化期は、術後 1 週間～数週間の時期であり、タンパク合成が始まり、術後喪失した（ 3 ）を回復する。食欲が増進し、体力も徐々に回復する。この時期は退院して変化した身体に合った生活の再（ 4 ）に取り組み、自己概念の変化を受容することが課題となる。

第 4 相：（ 5 ）期は、第 3 相後～数か月の時期であり、（ 5 ）により体重増加や体力回復が見られる。この時期は、心身ともに現実に適応するよう取り組み、体力の維持・増進にも関心が向く。

【問題 4】以下の文章について、選択肢の中からあてはまる解答を 1 つ選び、解答欄にその記号を記載しなさい。

1. 成人に側臥位で行う穿刺法は次のうちどれか。
 - a 胸腔穿刺
 - b 腹腔穿刺
 - c 腰椎穿刺
 - d 骨髄穿刺

2. 創傷治癒を遅延させる因子として**適切でない**ものは次のうちどれか。
 - a 血清アルブミン低値
 - b 鉄欠乏
 - c ビタミン A 欠乏
 - d ビタミン D 欠乏

3. 次の血圧に関する記述のうち**不適切な**内容はどれか。
 - a 血圧測定で通常上腕動脈が用いられる理由は、臥位でも座位でもほぼ心臓と同じ高さであるため、測定値の変動が少ないからである
 - b 成人の血圧測定では、一般に 20 cm 幅のマンシエットが使用される
 - c 収縮期血圧より 20~30 mm Hg 加圧し、脈拍 1 回に 2mmHg 程度の速度で減圧する
 - d 血圧測定は、運動・食事・入浴をした直後は避け、その他にも血圧に影響する要因がないか注意する

4. エリクソンによる自我発達理論における幼児前期の発達課題はどれか。
 - a 勤勉性
 - b 自律性
 - c 親密性
 - d 基本的信頼

5. 水痘を罹患した子どもで、集団生活を休ませる期間はどれか。
 - a 解熱した後、3 日を経過するまで
 - b 新たな水疱が生じなくなるまで
 - c 発疹が痂皮になるまで
 - d 咳が消失するまで

6. 発達の遅れを疑うものはどれか。
- a 2カ月で首がすわらない
 - b 6カ月でつかまり立ちができない
 - c 3歳でスキップができない
 - d 5歳で2本の線の長い方が選べない
7. 離乳について適切なものはどれか。
- a 離乳の開始時期は生後4カ月頃が適切である
 - b 開始時は豆腐や白身魚といったタンパク質を中心としたものから与える
 - c 1日2回の離乳食を食べるようになったら、母乳・育児用ミルクを与える量は制限する
 - d 開始から2カ月後ごろは、舌でつぶせる固さの食物にする
8. 乳幼児突然死症候群（SIDS）について、適切なものはどれか。
- a 0歳の死亡原因の第1位である
 - b 好発時期は生後2～6か月である
 - c 予防法の1つとしてうつぶせ寝がある
 - d 解剖検査により、死亡原因が同定されることが多い
9. 産褥期にみられるマタニティブルーズについて、適切なものはどれか。
- a 症状として幻聴が特徴的である
 - b 産褥3～5日頃から症状が出現する
 - c 大半は産後うつ病に移行する
 - d スクリーニング調査票がある
10. 妊娠期の不快症状と予防・対応の組み合わせで適切なものはどれか。
- a 静脈瘤 ————— 弾性ストッキングの着用
 - b つわり ————— 葉酸の服用
 - c 便秘 ————— 緩下剤の服用
 - d 腰痛 ————— やわらかめのマットの使用

11. 母子保健統計の定義の算出法で、適切なものはどれか。
- a 出生率とは、人口 1 万人あたりの 1 年間に生まれた子どもの割合である
 - b 合計特殊出生率とは、15 歳から 49 歳までの女性の年齢別出生率の合計である
 - c 周産期死亡率とは、妊娠満 22 週以後の死産と生後 1 カ月未満の早期新生児死亡を合わせたものである
 - d 早期新生児死亡率の算出には、生後 1 カ月未満の死亡数を用いる
12. 人工乳と比べた母乳栄養の利点で、**適切でない**ものはどれか。
- a 母子相互作用を高める
 - b 消化吸収しやすい
 - c 免疫グロブリンなどの免疫物質が含まれている
 - d ビタミン K 含有量が多い

【問題 5】以下の文章について、空欄 1～6 にあてはまる適切な語句を入れなさい。
解答は解答欄に記載しなさい。

1. 乳児は生後 6 カ月頃になると、母親や家族と見知らぬ人の区別をするようになり、母親がそばをはなれると不安になって泣いたり、探し求めたりする（ 1 ）不安が見られるようになってくる。
2. 標準的な発育をしている乳児の体重が出生時の体重の 2 倍になる時期は生後（ 2 ）か月頃である。
3. 脱水のアセスメント視点として、乳児の場合、活気の低下、（ 3 ）の陥没や眼窩部の陥没などがある。
4. 勤労女性の産前産後の休業や育児時間について規定しているのは（ 4 ）法である。
5. 乳汁分泌の機序として、乳汁分泌を行うプロラクチン、乳汁の排出を促す（ 5 ）がホルモンとして関与している。
6. 分娩の時期による分類で、正期産とは妊娠 37 週 0 日以降から妊娠（ 6 ）週未満の分娩のことである。

【問題 6】変形性股関節症で人工股関節全置換術を受けた 80 歳女性。2 階建ての一軒家で息子夫婦と暮らしているが日中は独居で要介護 1 と認定されている。この女性の移動時の安全を確保するために外来看護師が行う生活指導で適切なものを 2 つ、利用を勧められる介護保険サービスを 2 つ解答欄に簡潔に記述しなさい。